

みなみじゅうじせい



【学校教育目標】笑顔いっぱい

～やる気・やさしさ・根気強さのある みなみっ子の育成を図る～

長崎市立南長崎小学校 校長 宇土 衛

笑顔いっぱいの1学期

今年度、学校教育目標を「**笑顔いっぱい**
～やる気 やさしさ 根気強さ～」とし、子どもたちと過ごしてきた1学期でした。多くの場面で子どもたちの笑顔が見られ、また、私たちも笑顔にしてもらいました。

その1学期の終業式で子どもたちに次のような話をしました。（残念ながら体育館が使用できず、オンラインでの終業式となってしまいましたが、子どもたちは集中して聞いてくれました。）

今日は校長先生が「笑顔いっぱい」になった、皆さんの様子を伝えたいと思います。1つめは「挨拶」です。とても上手に挨拶できる人が増えました。特に、先に挨拶をしてくれる人が増えたことをとても嬉しく思います。2週間ほど前には、帰ろうとした時に、運動場のピロティーにいた人から「校長先生さようなら～」と大きな声で挨拶してもらいました。校長先生笑顔いっぱい、ルンルン気分で帰ることができました。「挨拶」は皆さんが生きていく上でとても大切な力となります。これからも意識して取り組んでください。

2つめは、日々の授業に取り組む態度です。学校の多くの時間は、授業です。勉強をする時間です。4月当初は、机に突っ伏したり、先生の話を受けない「勉強をしようとしないう人」も見られましたが、この1学期でそういった人がいなくなりました。その1日1日、1時間1時間で、皆さんの学力は高くなっていきます。

これまでできなかったことができるようになったり、少し難しいことや苦手なことに挑戦したりするという態度、新しいことを学ぶ楽しさを大切にしたいですね。

そうそう6月の校長講話で、「できるには100日かかる」という話をしました。そこから頑張っている人は2学期のスタート9月が、ちょうどその100日目辺りになります。きっと笑顔いっぱいの皆さんを見ることができますね。

皆さん、それぞれ自分が「笑顔いっぱい」になりつつ、また周りの人も笑顔にしてくれていることをとても嬉しく思います。

最後に、夏休みに皆さんが「笑顔いっぱい」になるための話をします。それは、「自己決定力」を高めることです。簡単に言うと「自分で決める力」「自分で創り出す力」を高めることです。自由に過ごすことができる夏休み。しかしこの「自由」を使いこなす充実させることは、実は難しいことなのです。自分の生活を自分で決めていく「自己決定力」を発揮し、ぜひ、満足のいく夏休みを自分の手で創り上げ「笑顔いっぱいの夏休み」にしてください。それでは、いよいよ楽しい夏休みのスタートです。「自分の命は、自分で守る」を心に、健康・安全に気を付けて、元気に楽しく過ごしてください。

ご家族で「特別な夏時間」を過ごしてください。



イラストは、6年1組の内海さん作です。